

【衆院文科委】

新日本建設の詔書を教材に

富田 茂之氏 (公明・比例南関東)

富田議員は、1946年に発表された昭和天皇の「新日本建設に関する詔書」を「平和国家建設に向けた国民の精神的支柱」と評価し、学校現場の教材として活用するよう求めた。

松野文科相、重要と認識

松野博一文部科学相は、同詔書が五箇条の御誓文に基づき平和主義や民主的な新国家建設を宣言しており、「戦後のわが国の歴史的転換において重要な意味を持つ」との認識を示した。

ただ、教材としての活用については「教育基本法の趣旨に沿った適切なものである限り、校長や設置者の責任と判断で使える」と説明。その上で「各学校で多様な資料を創意工夫しながら活用すること、子どもたちの学びを充実させることが重要」と述べた。

